活動名	団体名	こすもすの会
ミニ障害児子どもまつり	地域	広島県広島市
	代表者	代表　江本　桂子
	支援金額	20万円

活動概要

「地域に豊かな遊びと文化を!!」を願って①作って遊ぼう②作って食べよう③簡単に遊ぼう（伝承遊び等）の3つの柱で、毎回5～6つのコーナーを準備し、できるだけ参加している子ども達が選ぶことができる。
また「作って遊ぶことが少ない」などの現状に少しでも応えたいと努力しております。子ども達が「○○がしたい」親達の「○○がさせたい」をできるだけ受け止めたいと思います。

◆実施時期：　2008年4月～2009年3月
夢トピア3F地域交流スペース（もみじ福祉会）

◆参加人数：　子ども　269名（内　障害児29名）
ボランティア　260名

参加総人員　529名

《日帰りキャンプ　川真珠貝広場》

《おにぎりコーナー》

《バンドオメガによるミニコンサート》

《もちつきコーナー》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

・今回初めて、西区社協のボランティアの参加があり、地域に根ざした活動にする為の方向性が見えた。
・ガイドヘルパーが活動をする際の遊び場の提供になった。
・土曜日に子どもが主体的に関われる遊び場の提供の一助にはなっていると思う。

◆苦労した点

・会員制ではないので、半数は不安定な参加状況に有り、準備物が足りなかったり、時にはあまる事も多々ある。
・参加者の希望は聞くが、多数決のため希望通りにならないこともあり、全員が満足して遊びきれたかどうか課題が残る。
・市立養護学校の中に理解のある先生が居られる時と居られない時では、チラシが配布できたりできなかったりということがおこった。

◆今後の課題・発展の方向性

・ボランティアの確保
・参加人数の定着
・提供できる遊びの内容を「作って遊ぶ」「作って食べる」「簡単に遊ぶ」を重点にもっと充実させ中身のこい遊び作りを工夫したい。

◆活動を終えての感想・意見等

・似かよった遊びが何回かあったのでもっと工夫したい。
・全体として子どもが楽しく参加していたと思う。
・ボランティアと事務局の協力体制を強化したい。